



ほつとするね
緑の府中

指導室だより

第 67 号

編集・発行 府中市教育委員会教育部指導室
〒183-8703 府中市宮西町2-24
電話 042-335-4063

平成20年度府中市教育委員会児童・生徒表彰式

日ごろの努力の成果が 認められ表彰される

府中市教育委員会主催平成20年度児童・生徒表彰式が3月3日、府中市立教育センターにおいて久芳美恵子教育委員会委員長を始め、市立小・中学校長、保護者等多数出席のもと開催された。

今回は、個人5人と23団体が表彰を受けた。

始めに、久芳美恵子教育委員会委員長より挨拶があった。

「皆さん、この度は受賞、誠にありがとうございます。

府中市教育委員会では、毎年市内の小・中学校の児童・生徒の皆さんの中で、他のお手本となるような立派な活動をされた方やいろいろな分野で良い成績を挙げた方を表彰することになっています。

今回、受賞される皆さんは、鼓笛隊や和太鼓、琴、合唱、吹奏楽、音楽クラブなどの音楽活動、また、水泳、陸上、サッカー、タグラグビーなどのスポーツ活動、さらに、奉仕活動及び福祉



活動などの分野で活躍され、それぞれ素晴らしい活動や成果を収められた方々です。

今まで一生懸命、勉強やスポーツ、学校外での奉仕活動などで頑張ってきたことが、今日の受賞につながりました。

皆さんは、多くの方々の指導や見守りがあって立派な成果を収められたことについて、『あり

ありがとうございます』という感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思います。

皆さんは、これから進学や進級をされるわけですが、今回の受賞を励みとして、ますます明るく、健やかで立派に成長されることを願っています。」

○ 受賞者及び団体

◆府中第一小学校

☆第45代わかば鼓笛隊
日ごろから熱心に鼓笛隊の練習に励み、市の行事に参加し、その成果を披露して多くのひとを力づけ喜ばれた。

◆府中第二小学校

☆和太鼓クラブ
日ごろから熱心に和太鼓の練習に励み、市の行事でその成果を披露して多くのひとを力づけ喜ばれた。

☆プラスバンド部

日ごろから熱心にプラスバンドの練習に励み、市の行事などでその成果を披露して多くのひとを力づけ喜ばれた。

◆府中第四小学校

☆ハーモニープリーズ
日ごろから熱心にバンドの練習に励み、地域の行事や福祉施設の訪問でその成果を披露して

多くのひとを力づけ喜ばれた。

◆府中第五小学校

☆音楽クラブ
日ごろから熱心に音楽の練習に励み、市の行事や福祉施設の訪問でその成果を披露して多くのひとを力づけ喜ばれた。

◆府中第七小学校

☆府中太鼓クラブ
日ごろから熱心に武蔵国府太鼓の練習に励み、地域の行事や福祉施設の訪問でその成果を披露して多くのひとを力づけ喜ばれた。

◆府中第七小学校ほかの
児童で編成

☆府中なでしこ(女子)

日ごろからサッカーの練習に励み、第17回東京都ニーニャス大会に出場し優秀な成績を収めるなど十分にその力を発揮した。

◆府中第八小学校

☆六年生児童
日ごろから熱心に鼓笛演奏の練習に励み、市の行事に参加しその成果を披露して多くのひとを力づけ喜ばれた。

☆全校児童

東京消防庁のマスコットをテーマとした歌の収録に協力して、防火防災の意識啓発に貢献し歌を聴く人に元気を与えた。



コンクールでその成果を披露して多くの人びとを力づけ喜ばれた。

◆本宿小学校

☆金管バンド

日ごろから熱心に金管バンドの練習に励み、地域の行事や福祉施設の訪問でその成果を披露して多くの人びとを力づけ喜ばれた。

☆合唱団

日ごろから熱心に合唱の練習に励み、市の行事や福祉施設の訪問でその成果を披露して多くの人びとを力づけ喜ばれた。

を発見し、先生と力をあわせて施設に送り届けて人命救助の一助となった。

☆児童会

青少年赤十字の活動に全校児童の中心となって熱心に取り組み、ジンバブエの子どもたちにプレゼントを贈り社会に貢献した。

☆五年生児童

友達と力をあわせて第19回府中市農業まつりに参加し、自分たちで育てた農作物の販売を通じて募金活動を行い社会に貢献した。

◆若松小学校

☆和太鼓クラブ

日ごろから熱心に武蔵国府太鼓の練習に励み、市の行事でその成果を披露して多くの人びとを力づけ喜ばれた。

☆おこと同好会

日ごろから熱心に琴の練習に励み、市の行事でその成果を披露して多くの人びとを力づけ喜ばれた。

◆小柳小学校

☆ブラスバンド

日ごろから熱心にブラスバンドの練習に励み、地域の行事や福祉施設の訪問でその成果を披露して多くの人びとを力づけ喜ばれた。

◆南白糸台小学校

☆ウィンドアンサンブル

日ごろから熱心に吹奏楽の練習に励み、市の行事でその成果を披露して多くの人びとを力づけ喜ばれた。

◆日新小学校

☆六年生児童

日ごろから熱心に菊の鉢作りに取り組むとともに、菊の花を福祉施設に贈り人びとを力づけ喜ばれた。

◆府中第二中学校

☆吉野裕太さん

日ごろから学校内外の清掃活動を積極的に行うとともに、生徒会会長として生徒会活動の充実に熱心に取り組み快適な学校環境づくりに尽力した。

☆原田真衣さん

日ごろから水泳の練習に励み、第63回国民体育大会に出場し優秀な成績を収めるなど十分にその力を発揮した。

☆榊優菜さん

日ごろから陸上競技の練習に励み、第36回関東中学校陸上競技大会に出場するなど十分にその力を発揮した。

◆浅間中学校

☆黒木満佐子さん

日ごろから水泳の練習に励み、

第63回国民体育大会に出場し優秀な成績を収めるなど十分にその力を発揮した。

表彰の後、来賓を代表して、

府中市立小・中学校校長会会長 府中第二小学校田中博校長より「今年は、小学校24件、中学校4件の人たちが表彰されました。おめでとうございます。皆さんの賞状を受け取る姿もそうですが、ここから皆さんの様子を見ると大変立派で頼もしく見えます。ある有名な随筆家は、『行くべき港のない船に、風は船の帆を押さない。』と言っています。目標をはっきり持たない人は、いつも同じ所をぐるぐる回っているだけで、行くあてもなくいろいろ誘惑に負けて、いつまでたっても、どこへもたどり着けないということです。皆さんは、目標をはっきりもって今日までがんばったからこそ、今日のこの素晴らしい表彰があったのだと思います。今回の受賞は、皆さんのがんばりが認められたことですから自信をもって、これからも、さらに大きな目標をもち、他の人に感動を与えられるような人になってください」との祝辞があり、表彰式は終了した。





平成21年度
教育相談・巡回相談員

教育相談室活動報告

平成20年度を 振り返って

教育相談員 本間 加恵子

○はじめに

教育相談室は市内在住・在学の幼児、小・中学生、高校生とその保護者を対象に、子どものころ・発達に関する心配事や悩みについての相談を受けている。教育センター一階に設置され、主な活動は来室相談と電話相談である。

来室相談は予約制となっており、原則、保護者からの申込みで受け付けている。保護者とは面接、カウンセリングを通して子どもとはカウンセリングやプレイセラピー(遊びの中で自己表現を促す心理療法)を通して、問題解決を目指している。

ここでは、来室相談について一年間の活動を振り返って報告したい。

○昨年度の相談実施状況

昨年度は、教育相談員(心理士)11名と電話相談員(教職経験者)2名により運営した。年間の相談実施状況は表1・2のとおりである。

表1 相談件数

| | 相談件数 |
|------|------|
| 20年度 | 360件 |
| 19年度 | 351件 |
| 18年度 | 376件 |
| 17年度 | 340件 |
| 16年度 | 283件 |

表2 主訴分類別件数

| | 主訴分類 | 19年度 | 20年度 |
|---|-----------|------------------|------------------|
| 1 | 不登校・登校しぶり | 131件 (37.3%) | 111件 (30.8%) |
| 2 | 発達障害の疑い | 60件 (17.1%) | 72件 (20.0%) |
| 3 | 情緒不安定 | 39件 (11.1%) | 54件 (15.0%) |
| 4 | しつけ・育て方 | 8件 (2.3%) | 22件 (6.1%) |
| 5 | その他 | 113件 (32.2%) | 101件 (28.0%) |
| 計 | | 351件 (100.0%) | 360件 (100.0%) |

「情緒不安定」「しつけ・育て方」の件数がこれまでよりも増加し「不登校・登校しぶり」が減少した。それぞれについて考察する。

教育相談では、その子の苦しさはどこからくるのかを生育暦を振り返って理解し、適切な感情表現を促すような関わりをしている。

「発達障害の疑い」特別支援教育が始まり、社会的にも発達障害の存在が認識されるようになってきた。その結果、発達障害の視点から子どもの問題を捉え理解を図る保護者が増加したことや、教育現場からの紹介が増えたことが件数増加の理由として考えられる。教育相談では、心理面のケアだけでなく、子どもの特徴にあわせて関わり工夫を考えた、教育環境を整えるために学校と連携したりしながら対応している。

子どもを育てる上での保護者の戸惑いを伺っている。身近に子育てについて話し合ったり相談したりできる保護者仲間や家族がおらず、保護者が孤立しがちな社会傾向も影響しての件数増加であるように思う。

「不登校・登校しぶり」

不登校の背景には様々な要因が絡んでいることが少なくない。発達のアンバランスさなどの生物的要因、家族関係のひずみから情緒不安定になり、適応が難しくなるなどの心理的要因、学校環境などの社会的要因。他の主訴の増加も含めて考えると、以前に比べ、不登校に至る前の段階で、別の主訴でつながる事例が増えている様に感じている。

○おわりに

子どもをとりまく環境が大きく変化しているこのごろ、相談の内容も社会傾向の影響を受け多様化している印象がある。今後多くの子どもたちが・保護者のお役に立てるよう、時代の潮流にあわせ、活動の充実をはかっていきたい。

相談件数は、ここ5年間で増加傾向にある。これは、市内小学校への巡回相談(特別支援相談室)がスタートした時期に重なる。巡回相談は現在、教育相談員が兼務・連携しており、学校外での継続相談を必要とする事例が、教育相談につながりやすくなってきた。また、家庭支援センターや医療機関など、関係機関との連携の機会が増えたことも影響していると考えられる。来室経緯について、ホームページを見たという方も増えている。教育相談室が市民により近い存在となってきたのではないだろうか。

主訴では、「発達障害の疑い」

「情緒不安定」

情緒不安定に陥る子どもにも共通しているのは、感情表現がうまくできない、ということである。自分の感情を捉え適切に表現する力は、自律する力に直結している。感情表現の苦しさの背景には、子どもの特性や、特に家庭を中心とした幼少期の人間関係の影響などが考えられる。

特別支援相談室 ②

電話教育相談

「平成20年度の電話相談を振り返って」

電話教育相談員 岡田みい子

1 はじめに

近年、子どもたちのインターネットに関わる事件が多数報道された。そこで、文部科学省をはじめとして関係諸機関では、携帯電話を含めたインターネットの使用制限のあり方を色々に議論している。

本市の電話相談においても、この1、2年同内容の深刻な相談が寄せられるようになった。さらに新たな相談内容も出現している。

電話相談という行為の中には個人的な経験に基づく「アドバイス」、専門的な根拠に基づく「コンサルテーション」そして自己決定能力を育てる「カウンセリング」があると専門家は指摘している。

今年度も社会の変化を認識しつつ、前記の3要素を考えながら、誠意ある対応、正確な情報提供などを心がけた。

2 20年度の相談の概況

☆相談時間

6割弱の相談は、20分以内で終わっているが、30分から1時間の相談も2割弱ある。近年、1時間半以上の相談も増えてきている。社会環境の複雑化に伴い、事象を引き起こす要因が、多岐にわたっていることが多い。適切な対応のために、丁寧に相談内容を傾聴する必要を強く感じている。

☆相談者

相談者は親が最も多く、397名であった。そのうち父親の占める割合は、20名、5%である。子どもの教育については、まだまだ母親に多くが託されているのが現状と推察する。また、祖父母からの相談は、月に1〜2件あり、増加の傾向にある。

☆相談対象者

今年度も一番多いのは、小学生である。占める割合も昨年度と変わらず、50%である。次いで中学生の29%、高校生8%、就学前の7%の順である。昨年度と変わったのは、高校生の相談が増え、就学前の相談が減少したことである。

性別の比率は、男子64%、女子36%で、男子に関する相談が多い。

☆主訴別件数

下の表1、表2は主訴別相談状況である。以下件数の多い主訴3点についてのその傾向を述べる。

【不登校】

例年どおり、最も多いのが不登校の相談で93件。全相談件数に占める割合は20%である。

過去3年間の数字をおとしてみると18年度79件、19年度82件、20年度93件と徐々に増加している。小学生は減少の傾向にあるが、中学生、高校生の数が増えている。

原因は、学習の問題、人間関係の問題、部活の問題等様々である。また、中学、高校では、携帯電話に関する問題で不登校になったという相談も増してきている。不登校の相談は、1回の相談で解決することが少ない。それ故、状況に応じて、来室相談を勧めたり、適応指導教室(けやき教室)を紹介したりしている。

【しつけ・育て方】

今年度は73件で昨年度に比べ31件の増加である。18年度26件、19年度42件、20年度73件と、その数は年々増加している。

(平成21年3月31日現在)

表1 主訴別件数

| 主訴 | 対象 | 就学前 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 他 | 合計 |
|---------------------|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 性格・行動 (不登校・いじめ等) | | 2 | 52 | 72 | 20 | 13 | 159 |
| 知能・学業 (発達障害等) | | 11 | 46 | 6 | 1 | 0 | 64 |
| 進路 (転校・進路等) | | 2 | 11 | 13 | 2 | 1 | 29 |
| 精神・身体 (言葉・経性習癖) | | 7 | 15 | 3 | 2 | 1 | 28 |
| その他 (学校・教師・育て方) | | 11 | 102 | 37 | 11 | 12 | 173 |
| 合計 | | 33 | 226 | 131 | 36 | 27 | 453 |

子どもを取り巻く環境の悪化、不登校、ひきこもり、特別支援教育等子育てに関わる課題が深く、多くなり、色々な情報を活用しながら取り組んでいる保護者の苦悩が伝わってくる。

【発達障害の疑い】

相談数は、ここ3年間は増加の傾向が見られる。

18年度より本市でも始動している特別支援教育体制の充実、報道の増加等により、保護者の理解が深まっているためと思わ

(平成21年3月31日現在)

表2 相談件数の多い主訴の内訳 (上位6位)

| 主訴 | 対象 | 就学前 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 他 | 合計 |
|-----------|----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 不登校とその傾向 | | 0 | 17 | 50 | 14 | 12 | 93 |
| しつけ・育て方 | | 4 | 50 | 11 | 6 | 2 | 73 |
| 発達障害の疑い | | 9 | 37 | 6 | 0 | 0 | 52 |
| 学校・教師との関係 | | 0 | 38 | 8 | 0 | 1 | 47 |
| 相談の問い合わせ | | 6 | 8 | 10 | 0 | 8 | 32 |
| いじめ | | 0 | 10 | 12 | 0 | 0 | 22 |

3 おわりに

相談には、時には無言の電話があり、時にはしばらく間を置いて話し出されることもある。なぜ今、なぜここにきてくたさっているのかを重く受け止めて、今後受話器を握りたい。



新任の指導主事・着任の挨拶



統括指導主事
金子 真吾

歴史と伝統ある府中市に着任することができ、大変誇りに感じております。これからの出会いを大切に、「誇りをもてるふるさと府中を創り、世界に活躍する心豊かでたくましい府中っ子」を育てる原点に、常に立ち返り、各校の支援にあたる所存です。第三期を迎える「学校教育プラン21」の具体像を明確にすることに全力を尽くします。



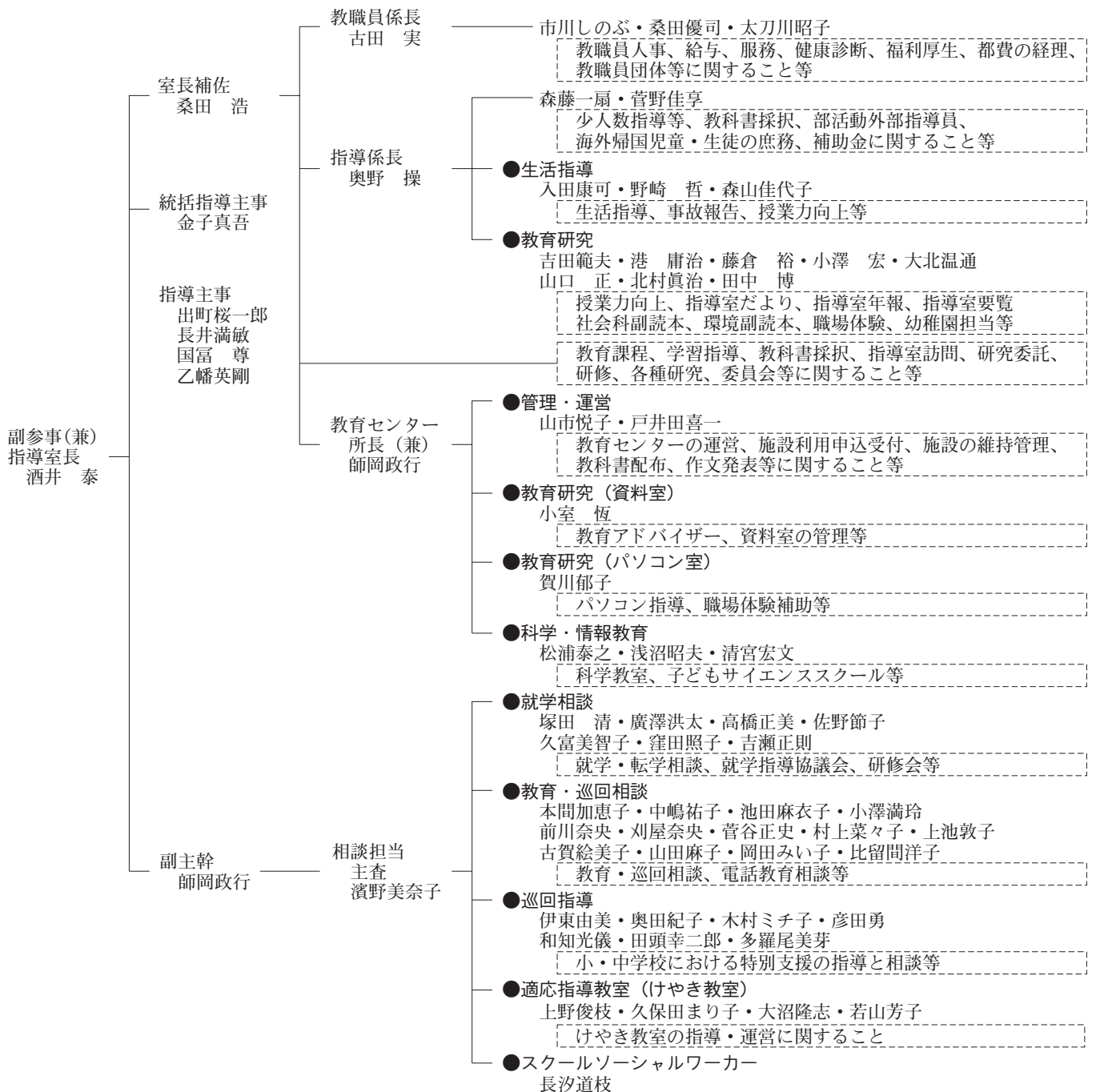
指導主事
乙幡 英剛

この度、着任いたしました乙幡英剛（おっぱたひでたか）です。

入学式での子どもたちの輝く笑顔を見て、職務への責任の重さを新たにしております。本年度は、「府中市学校教育プラン21」第三期開始であるとともに「学習指導要領」先行実施の重要な時期です。「世界に活躍する府中っ子」のために頑張ります。よろしくお願いいたします。

平成 21 年度 指導室の組織及び業務

4月1日現在



道徳授業地区公開講座
(一学期実施校)

- 保護者・市民の参加のもとに
学校・家庭・地域の連携による
道徳教育の充実を図りましょう。
- ◆5月9日(土) 8時40分
☆府中第八中学校
学校公開日・協議会
- ◆5月30日(土) 8時45分
☆府中第八小学校
学校公開日・講演会
- ◆6月6日(土) 8時40分
☆住吉小学校
学校公開日
- ◆6月20日(土) 8時35分
☆府中第三小学校
学校公開日
- ◆6月24日(水)
☆府中第五小学校 8時25分
学校公開日・講演会
- ☆府中第三中学校 8時25分
学校公開日
- ◆6月27日(土)
☆本宿小学校 8時35分
学校公開日・講演会
- ☆四谷小学校 8時40分
学校公開日・講演会
- ◆6月28日(日) 8時25分
☆白糸台小学校
学校公開日・講演会
- ◆7月4日(土)
☆府中第四中学校 未定
授業公開日・講演会

| 日 | 曜 | 研修会・委員会等 | 会 場 | 研 修 内 容 等 |
|----|---|-------------------|---------------|------------------|
| 5 | 木 | 教務主任会 | 教 育 セ ン タ ー | 全体会、分科会 |
| 7 | 金 | 地域安全協議会全体会 | 教 育 セ ン タ ー | 事例発表及び協議 |
| 8 | 月 | 生活指導主任会 | 教 育 セ ン タ ー | 全体会、ブロック会、小・中各部会 |
| 11 | 月 | 特別支援学級代表者会 | 教 育 セ ン タ ー | 協議、情報交換 |
| 11 | 火 | 初任者等研修会 | 市 内 公 共 施 設 等 | 市内めぐり研修 |
| 12 | 火 | 就学指導協議会全体会 | 教 育 セ ン タ ー | 協議等 |
| 12 | 金 | 教育課程編成資料作成委員会 | 教 育 セ ン タ ー | 協議等 |
| 15 | 火 | 特別支援教育コーディネーター連絡会 | 教 育 セ ン タ ー | 協議、情報交換 |
| 19 | 火 | 校内研修担当者研修 | 教 育 セ ン タ ー | 協議、情報交換 |
| 19 | 金 | 図書館担当者等研修会 | 教 育 セ ン タ ー | 実技研修、情報交換 |
| 22 | 月 | 理科指導支援員研修会 | 学 校 | 理科授業及び協議 |
| 25 | 火 | 初任者等研修会 | 教 育 セ ン タ ー | 児童・生徒理解について |

この四月から小・中学校において、新学習指導要領の一部が先行実施されている。算数・数学、理科は授業時数が増え、新たな内容が加わった。また、小学校五・六年生では、年間25時間から35時間の英語活動にも取り組むこととなった。新学習指導要領では、教育基本法の改正等を踏まえ、子供たち

「生きる力」をはぐくむことを目指し、言語活動、算数・数学や理科教育、道徳教育、体験活動、外国語教育などの充実を図ることを大きな柱としている。

学習指導要領が改訂されるたびに、その理念が注目されるが、教師は、改訂の趣旨を踏まえ、いかに授業改善を行うかが最大の職務であろう。学習指導要領は改訂されたが、日々の授業が旧泰然としたものであれば、何回改訂されても「生きる力」は育たない。



「生きる力」をはぐくむ
授業改善

新学習指導要領の総則に「思考力・判断力・表現力」の育成が示されている。では、具体的に「思考力」を伸ばすとは、どのようなことであろうか。ある研修会で興味深い話を聞いた。

「思考力」とは、簡単にいえば「比べ、分類する力」「関係付ける力」である。例えば、「今日は寒いね」という会話から、三日前の気温と比べてみる。自分たちが歌っている歌と模範的な歌を比べる。これから学習する事項をすでに学んだことと関係付けさせる。このような学習活動をとおして、「思考力」を伸ばしていく。私たちは子供たちによく「考えてごらん」という発問をするが、「何を」「どのように」考えればよいのか明確でない場合が多い。枯れたヘチマと成長したヘチマの写真を見せて、「これを見てどう思う」と発問してしまう。この場合「何がどのように違う」と発問することにより、子供の発想がひろがっていく。また、「なぜこうなるの」という発問ではなく、「何がどのようにさせているのか」「今までに学んだ内容と関係はないか」など、「何が」「どのように」という発問を意識することが大切である。

今回の学習指導要領改訂を機に、教師自身が自らの授業を見つめ直し、「生きる力」をはぐくむ教育が実践されることを期待している。

(指導主事 出町 桜一郎)

学びの窓

府中地区保護司会

学校との連携特別委員会

前福祉保健部社会福祉係 林 俊泰
保護司は、法務大臣の委嘱により更生保護に携わるボランティアです。犯罪や非行をした保護観察対象者への指導、刑務所や少年院出所後の生活環境の調整と並んで、地域での犯罪予防活動が主な仕事です。

府中市では4月1日現在、54人の保護司全員が府中地区保護司会に所属し、犯罪予防活動に取り組んでいるところです。

学校との連携特別委員会は、その一環として、平成14年に府中地区保護司会内に設けられた組織です。児童生徒の健全育成と地域のネットワーク強化のため、学校との行動連携を進めています。現在、学校を訪問しての情報交換、生徒会リーダー研修会等の行事への参加、生活指導主任会との懇談会を実施しています。このほかにも、保護観察処分を受けた生徒や保護者に関する相談・支援、保護者会等における啓発活動、児童生徒との地域清掃への参加等、保護司が学校に協力できることは数多くあります。学校との連携特別委員会の活動に、教職員の皆さまのご理解をお願いいたします。